



## 2023年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年9月9日

上場会社名 エッジテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4268 URL <http://www.edge-tech.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 住本 幸士  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 治田 知明（TEL）03-6205-7597  
 四半期報告書提出予定日 2022年9月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年4月期第1四半期の業績（2022年5月1日～2022年7月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	651	—	78	—	80	—	52	—
2022年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	4.96	4.85
2022年4月期第1四半期	—	—

（注）当社は2022年4月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年4月期第1四半期における対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	820	483	59.0
2022年4月期	858	431	50.3

（参考）自己資本 2023年4月期第1四半期 483百万円 2022年4月期 431百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	—	—	—	—
2023年4月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

## 3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,025	39.9	311	48.2	310	55.0	203	48.1	19.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期1Q	10,544,000株	2022年4月期	10,544,000株
2023年4月期1Q	37株	2022年4月期	1株
2023年4月期1Q	10,543,983株	2022年4月期1Q	1株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2022年4月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたこともあり、景気に持ち直しの動きが見られました。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などの懸念により、今後の景気動向は依然として注意が必要な状況が続いております。一方、新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけに進んだりモータワークの推進や各企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進は、感染症の影響が落ち着いても止まることなく、AIアルゴリズム実装に対する需要を高めていると考えております。

当社においても、このような需要の高まりを取り込み、また、営業体制強化・継続的業務改善に取り組むことにより、当社サービスの拡大に繋げることができました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は651,713千円、営業利益は78,725千円、経常利益は80,512千円、四半期純利益は52,287千円となりました。

なお、当社はAIアルゴリズム事業を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産は804,130千円となり、前事業年度末に比べ38,291千円減少いたしました。これは売上高の増加に伴い売掛金が16,539千円増加した一方で、未払法人税等の支払等により現金及び預金が42,028千円減少したこと、未収還付法人税等の還付等によりその他流動資産が12,630千円減少したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定資産は16,029千円となり、前事業年度末に比べ394千円増加いたしました。これはパソコンを購入したことにより有形固定資産が730千円増加した一方で、敷金及び保証金の費用化等により投資その他の資産が335千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は820,160千円となり、前事業年度末に比べ37,896千円減少しております。

#### (負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債は310,360千円となり、前事業年度末に比べ81,927千円減少いたしました。これは主に外注原価の増加により買掛金が8,402千円増加した一方で、未払法人税等の支払により未払法人税等が44,855千円減少したこと、未払金や未払消費税等の支払によりその他流動負債が45,278千円減少したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債は25,866千円となり、前事業年度末に比べ8,216千円減少しました。これは1年内返済予定長期借入金への振替により長期借入金8,216千円が減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は336,226千円となり、前事業年度末に比べ90,143千円減少いたしました。

#### (純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は483,933千円となり、前事業年度末に比べて52,246千円増加しました。これは四半期純利益の計上等により、利益剰余金が52,287千円増加したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月10日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	570,997	528,968
売掛金	247,781	264,320
貯蔵品	175	113
その他	24,955	12,325
貸倒引当金	△1,486	△1,597
流動資産合計	842,422	804,130
固定資産		
有形固定資産	1,611	2,341
投資その他の資産	14,022	13,687
固定資産合計	15,634	16,029
資産合計	858,057	820,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	137,764	146,166
1年内返済予定の長期借入金	33,023	32,827
未払法人税等	72,704	27,849
その他	148,796	103,518
流動負債合計	392,288	310,360
固定負債		
長期借入金	34,082	25,866
固定負債合計	34,082	25,866
負債合計	426,370	336,226
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	95,354	95,354
資本剰余金	87,584	87,584
利益剰余金	248,741	301,028
自己株式	—	△40
株主資本合計	431,679	483,925
新株予約権	8	8
純資産合計	431,687	483,933
負債純資産合計	858,057	820,160

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)
売上高	651,713
売上原価	437,225
売上総利益	214,487
販売費及び一般管理費	135,761
営業利益	78,725
営業外収益	
受取利息	62
受取配当金	0
還付消費税等	2,009
営業外収益合計	2,072
営業外費用	
支払利息	230
その他	55
営業外費用合計	286
経常利益	80,512
税引前四半期純利益	80,512
法人税等	28,224
四半期純利益	52,287

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、AIアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。